

帰宅後の安否連絡訓練について

緊急事態が発生したときの児童の安否確認を迅速に行うことと、保護者や児童の防災意識を高めることをねらいとして、平成25年11月20日（水）に帰宅後の安否連絡訓練を行いました。想定と当日の流れは以下の通りです。

【想定】

- ・12:25 に宮城県沖で震度 5 強の地震が発生。津波注意報、警報等は発令されていない。
- ・子供たちは下校のスクールバスを降りて家に帰り、それぞれの時間を過ごしている。
- ・ライフラインは止まっておらず、電話も使える状態である。
- ・連絡確認が取れない家庭があった場合においては、校長の指示で安全確認に向かう。

【当日の流れ】

時間	流 れ	教師の動き
11:30	全児童スクールバスで下校。	
12:25	想定地震発生。 対応判断・指示。	全職員、職員室に集合 校長
	校長判断・指示内容 ・状況を確認、ライフラインが途絶えていない。児童の安否を学校に連絡してもらうように保護者に一斉メール配信を決定。 ・職員への今後の指示を出す。（職員室待機、校舎巡視等）	
12:30	保護者に一斉メール配信。	教務主任
12:35	B宅（メール登録していない家庭）に電話連絡。 各家庭から学校への連絡を受ける。	B担任 教務主任（メールでの確認） 事務長（校長室の電話対応） 技師（職員室の電話対応） 技師・教頭（名簿チェック集約）
(12:45)	全児童の安否確認がとれたことを共有する。 (想定) A宅より安否の連絡なし。担任が家庭に向かい、安否を確認後、学校に連絡することを校長が指示。	全職員、職員室に集合
13:00	A家に徒歩で向かい安否を確認し、学校に連絡する。 (想定) <打ち合わせ> 児童全員の無事を全職員が確認。訓練終了。	全職員、職員室に集合 各担任・職員
16:45 (17:00)	連絡・返信が無い家庭への電話掛け ※出張等で学級担任が学校にいない場合、教頭等他の職員が電話掛けを行う。その後、学級担任に児童の安否を連絡する。	